

## 計画に係る各委員からの意見・質問一覧

項目 No.	該当 ページ	区分	提出された意見【整理要約】	提出された意見に対する審議会(部会)の考え方 (提出された意見を考慮した結果とその理由)	反映 区分
1	8	意見	金額表示について、「2億4千3百51万7千円」から「2億4,351万7,000円」としたほうが読みやすい	(審議会にて審議)	
2	9	質問	7行目の「ビッグトマト」は「苫小牧中心商業地域活性化計画」とどのように関連しているのか	(事務局回答) 「苫小牧中心商業地域活性化計画」は平成4年(1992年)3月に苫小牧商工会議所より提言された中心商業地域の活性化計画です。ビッグトマトはその活性化計画の整備地域の愛称です。 ニューヨーク市の愛称が「ビッグアップル」であることを模して、苫小牧の中心商業地域を「ビッグトマト」と称するというものであります。	
3	13	意見	図表8、平成28年度の欄について、データがないのであれば削除してはどうか	(事務局回答) 平成28年度データを収集して追記予定です。	
4	13	意見	図表8について、表は平成21年度からだが、図は平成22年度からになっている。統一したほうが良い	(審議会にて審議) (事務局)平成22年から表記することとしたい。 P8_図表5も併せて22年度～に変更予定	
5	13	質問	平成21年度の倒産件数が多いがなぜか	(事務局回答) 平成20年9月、いわゆるリーマンショックが引き起こした全世界的な金融危機による急激な需要収縮が大きな要因と思われます。	
6	17, 18	意見	人材育成・事業承継部会では、第2期審議会委員で提起されてきた施策のなかから、平成30年度に実行するもの、平成31年度に実行するものと、区分して立案するのが良いと思う。具体的に	(人材育成・事業承継部会にて審議)	

			は「新卒高校生等雇用奨励事業」、「離職防止等処遇改善事業」であり、中堅社員（管理職）向けの生涯学習（スキルアップ）事業などがよいのではなかとと思っています。		
7	10	指摘	図表 6 商業統計調査には単位が「千円」と記載されているが、図表 6 内「年間販売額」の項では単位が「億円」となっている。しかし、図表 6 内の数値の単位は「百万円」ではないか	（審議会にて審議） （事務局案） 表枠外上部の「金額：単位 千円」→削除 表内年間販売額の 「単位：億円」→「単位：百万円」 ※表の単位が「店舗数」「人数」「金額」とバラバラなので、表を作り直して次回提示します。	
8	11	意見	工業の推移と現況は港湾貨物等の状況や最近の立地状況（植物工場等）に触れ、膨らませてはどうか。P9 の商業の推移と現況に比べ、ボリュームが小さい	（審議会にて審議） →次回審議会までに事務局案を提示します。	
9	15	指摘	現状と課題のところ「事業所数が減っている」とあるが、P7 の図表 4 では事業所数が増加している	（審議会・創業促進部会にて審議） （事務局回答） 経済センサスによる集計によると、事業所数のピークは「平成 13 年の 9,368 件」であり、それ以降は漸減傾向であることは変わりありません。 しかしご指摘の「 <u>年々</u> 事業所数が減っている」の表現については再考すべきかと思えます。  また、P7 は「従業者規模別事業所数の構成比」を示しており、表は事業所数の推移を示すものでないため、平成 24 年データの削除を検討願います。  （平成 26 年データも後日確定値に修正します）	

10	21	指摘	「中小企業の振興は、」で「経済団体」という文言が二重に記載されている	(事務局回答) 誤りですので削除します。	
11	8, 10, 12, 13	意見	図表 5, 6, 7, 8 で使用している単位が統一されていない。統一したほうが良いのではないか	(審議会にて審議) (事務局案) 「百万円」単位で統一したいと思います	
12	3	質問	「4 計画の位置づけ」の図にある「第6次苫小牧総合計画」と「苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」の具体的内容はなにか	(事務局回答) 「第6次苫小牧総合計画」(現在策定中)の「商業」「工業」の項目においても、中小企業振興について書かれています。また指標についても総合計画との連携を図る必要があります。  「苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」では「地元雇用強化」「産業競争力強化」「創業支援」「立地企業への支援強化」等の目標を掲げており、本計画とはこのような点で連携が必要と認識しております。	
13	21	質問	「中小企業者等は、」に「地域や業種等による組織化や団体への加入等により、連携及び協力するよう努めます」とあるが、連携及び協力の具体的内容は何か	(事務局回答) 具体的には、中小企業者等に、商店街振興組合や事業協同組合等を形成してもらい、また、そうした団体へ加盟していただくことを指しています。	
14	16	意見	「ターゲットを絞った創業促進支援」の②について、「高齢者」を「高年齢者」としてはどうか。「高齢者」は医療や生活保護などの場面で使われ、大抵は65歳以上と定義されているが、「高年齢者」は定年から年金の	(創業促進部会にて審議)	

			<p>需給開始までの雇用確保を議論する場合に用いられ、55歳以上と定義される。主に65歳未満までが対象となる。</p> <p>「高齢者」と比べて、現役の労働力としての活用を目的とした視点がある。失業者等も含めて「高齢者等」としても良い</p>		
15	21, 22	質問	<p>P21では「創業者」、P22「起業者」で表現が変えてあるが意図的なものか</p>	<p>(事務局回答)</p> <p>「中小企業振興条例」の文言を引用しているので表現に統一性がありませんでした。</p> <p>「創業者」で統一したいと思います。</p>	
16	18	意見	<p>「(2) 若者の職業体験支援」の項目に「③インターン相互間の交流の促進」が欲しい</p>	<p>(人材育成・事業承継部会にて審議)</p> <p>・インターンシップ学生同士の交流促進</p> <p>○ r</p> <p>・受入企業側の交流促進</p>	
17	17, 18	意見	<p>多様な人材育成コースが具体的に欲しい</p> <p>①キャリア形成促進助成コース</p> <p>②成長分野等人材育成コース</p> <p>③グローバル人材育成コース</p> <p>④育休中、復職後等能力アップコース</p> <p>⑤若手人材育成コース</p> <p>⑥熟年技能育成及び承継コース</p> <p>⑦イクメンプロジェクト</p> <p>⑧仕事と家庭の両立支援野ための啓発・広報の充実</p>	<p>(人材育成・事業承継部会にて審議)</p> <p>※計画の今後の新規事業・検討課題として引き続き考えていきたいと思っています。</p>	
18	-	その他	<p>3つの柱～実行計画をこれから進めて行く事に対しては特に意見なし</p>		
19	-	意見	<p>(15～20ページの) 主な事業と、現在苫小牧市が実</p>	<p>(事務局回答)</p>	

			<p>施している「事業名又は取組名」とのかかわりが、中小企業の人達に情報として周知されていないと思われる。たくさん内容のある事業が多いのもったいない。</p>	<p>市が各部署で行っているあらゆる中小企業振興策は計画の「別冊」として載せる予定であります。 (次回審議会で提示いたします)</p>	
20	17, 18	質問	<p>「人材確保、育成及び事業承継の円滑化-施策の体系-専門性及び技能の育成支援」の項目に「季節労働者の支援策」はあるか。</p>	<p>(事務局回答) 季節労働者については、これまでの審議会で議題になっておらず、本計画に支援策は含まれておりません。季節労働者への支援は、「東胆振・日高・平取地域通年雇用促進支援協議会」が担っております。</p>	